

快適に使用していただくために

取扱説明書

エススライド電動装置

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	2
3.使用方法	4
3-1 安全装置について	4
3-2 電源の入れ方	4
3-3 施錠・開錠方法	5
3-4 リモコン送信器登録方法について	6
3-5 リモコン送信器での操作方法	8
3-6 非常用押ボタンスイッチによる操作方法	9
3-7 電動で動かせないときの操作方法	10
3-8 ご注意とお願い	11
4.調整および交換方法	12
4-1 リモコン送信器の電池交換	12
4-2 調整について	12
5.お手入れについて	13
6.修理を依頼する前に	14
7.保証と修理	15
8.別売り品	16
9.仕様	16

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

1 安全のために必ず守ってください

警告



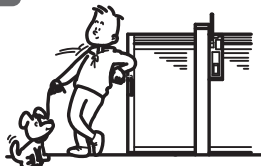
- 電源スイッチカバー内の配線にはふれないでください。
感電する危険があります。

警告



- 引戸が開閉しているとき、電源ユニットや、引戸と戸当たり柱の間に手や足をはさまないように注意してください。
ケガをする危険があります。

警告



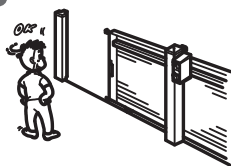
- 引戸に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
ケガをする危険があります。

警告



- 引戸の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。
特に小さいお子様には十分注意してください。思わぬケガをする場合があります。

警告



- 強風時や降雪時には、正常に作動しないことがあります。
引戸の開閉操作が終わるまでは、必ず目視確認してください。破損や故障の原因になります。

警告



- 閉じた状態のときは、必ず施錠してください。
引戸を半開きの状態で使用または放置しないでください。
強風で引戸が開き、人に当たるおそれがあります。

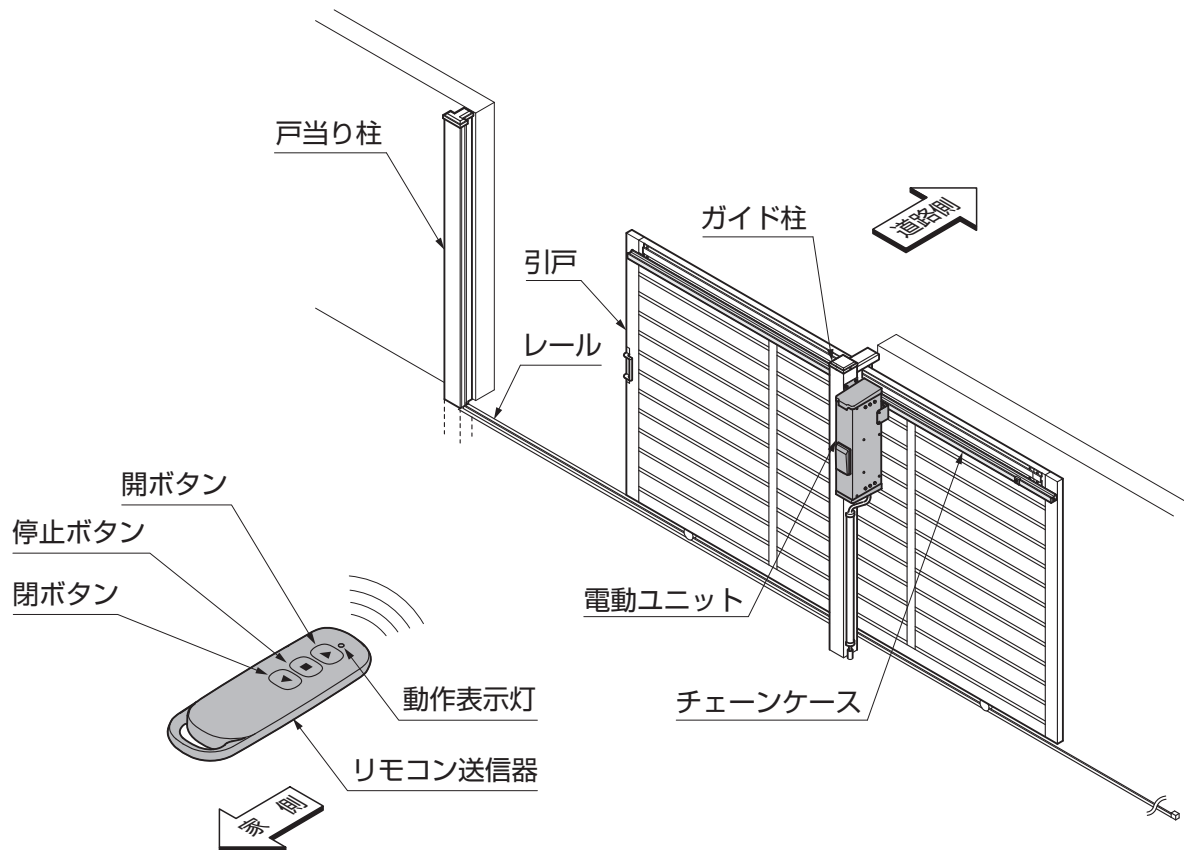
警告



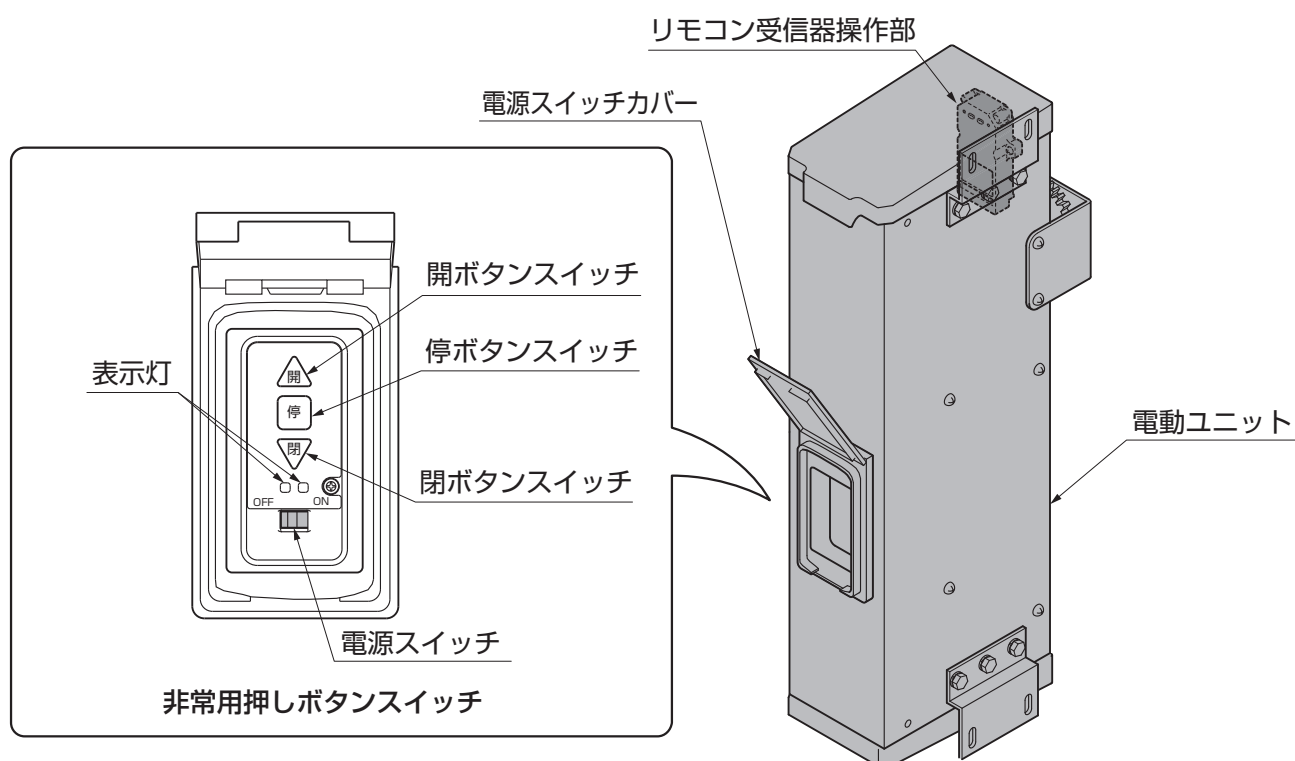
- 使用に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。
火災、感電の危険があります。

2 各部の名称

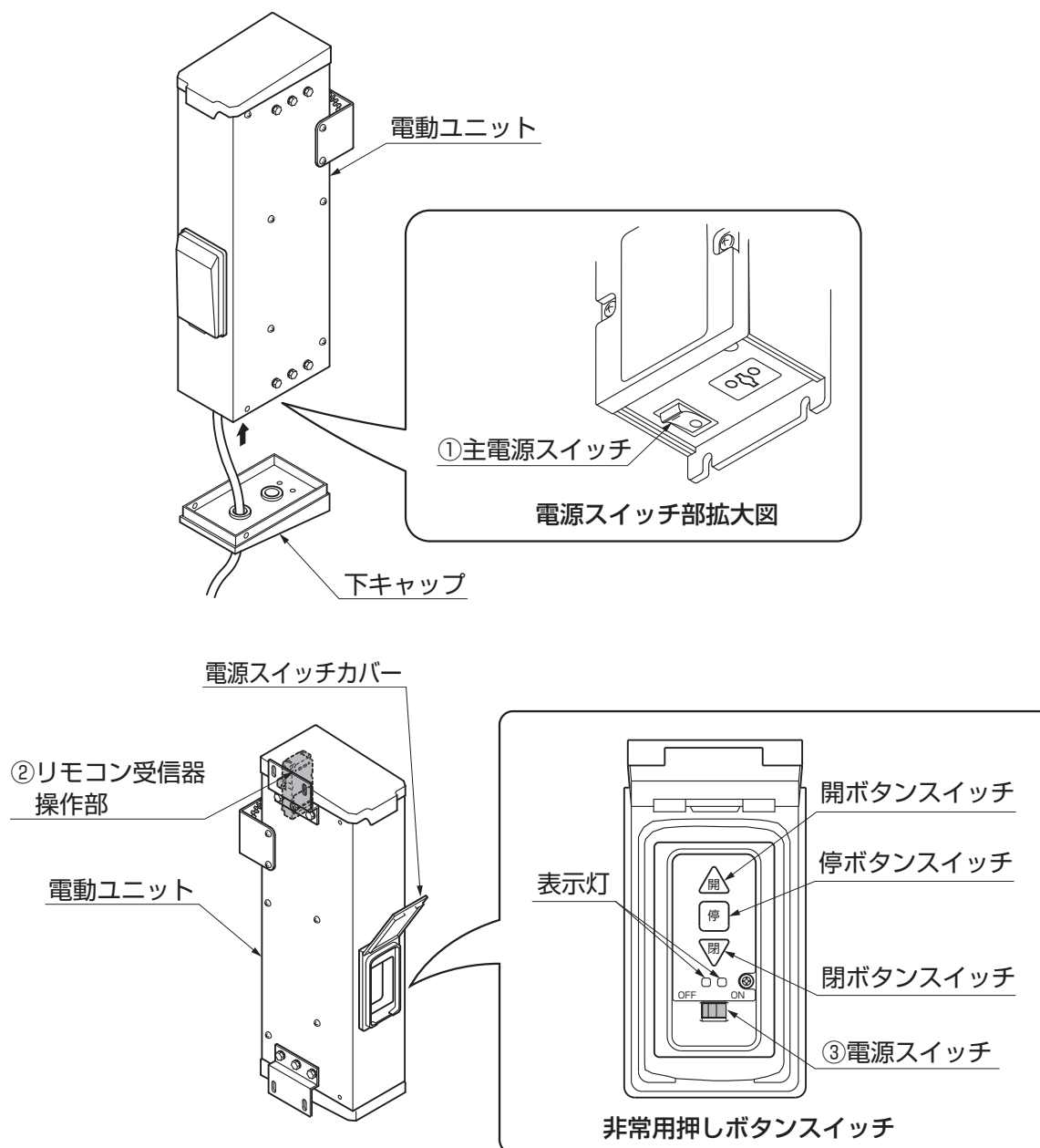
(1) 本体 ※図は家側からみた引戸を示します。



(2) 電動ユニット



(3) 電動ユニットの名称およびはたらき



	名 称	はたらき
①	主電源スイッチ	電動ユニットの電源を「ON・OFF」させるスイッチです。「OFF」にするとすべてのコントロール機能が停止します。
②	リモコン受信器操作部	リモコン送信器を登録、抹消するときに使用します。
③	電源スイッチ	手で引戸本体を動かすときに「OFF」にします。

⚠ 警告

- 電動ユニット内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。

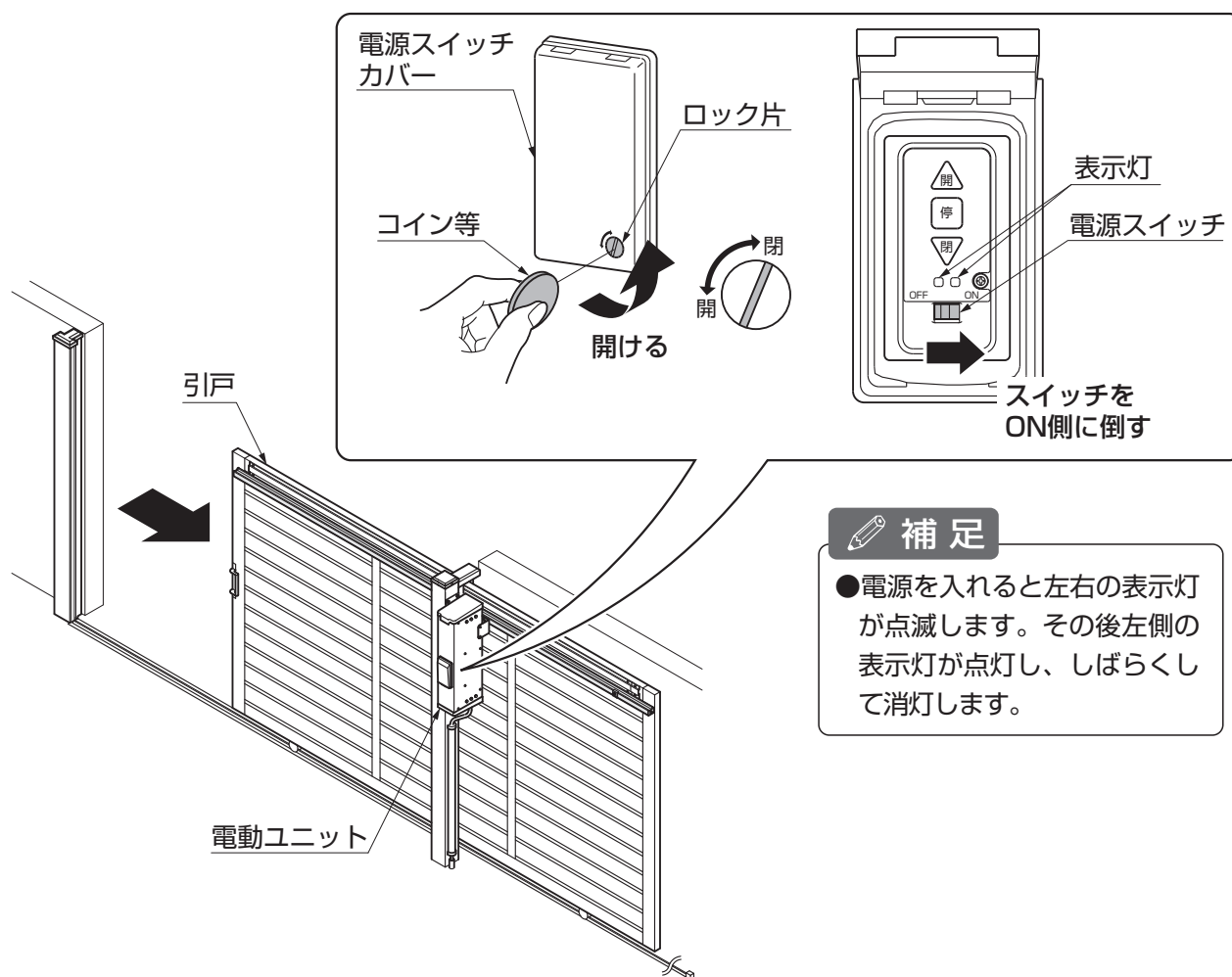
3 使用方法

3-1 安全装置について

補足

- 引戸が作動中に人や車、障害物に衝突したときに、大事故を防ぐために安全装置が設定されています。
- 開閉作動中に安全装置が作動した場合、閉側は、約1秒間後退し停止します。開側は、その場で停止します。
- 安全装置が働く力は、10～12kgです。

3-2 電源の入れ方



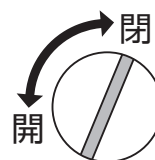
補足

- 電源を入れると左右の表示灯が点滅します。その後左側の表示灯が点灯し、しばらくして消灯します。

- ①電源スイッチカバーを開いてください。
- ②非常用押しボタンスイッチの電源を「ON」にしてください。

注意

- 不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。

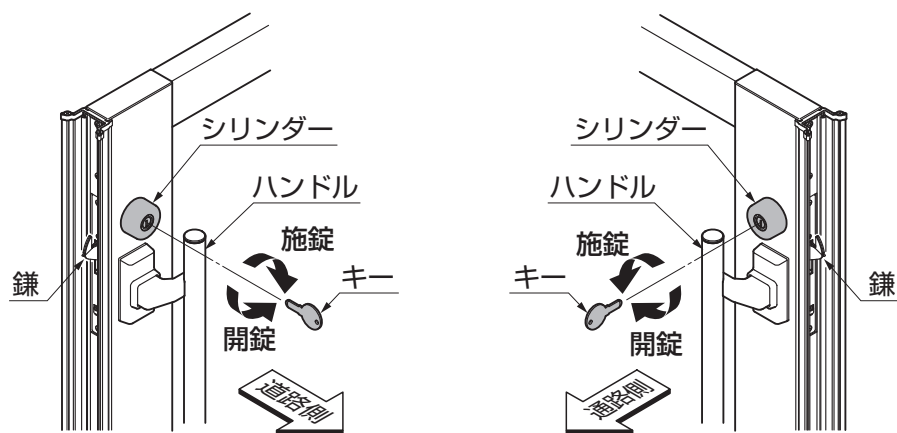


3-3 施錠・開錠方法

お願い

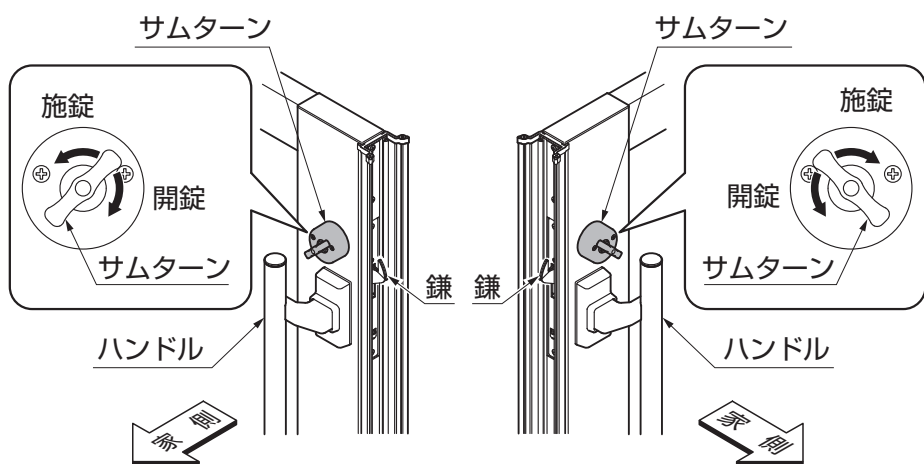
- 施錠・開錠は手動で行ってください。
- 電動開閉時には、開錠してから操作してください。

(1) 道路側から操作する場合



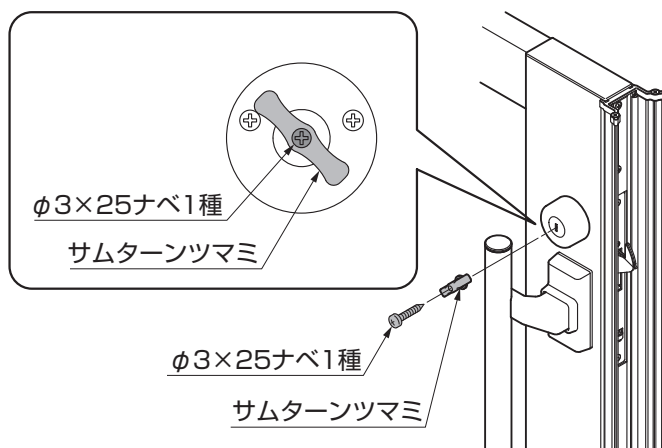
- ①付属のキーをシリンダーに差込みます。
- ②開錠するときは鎌の方向へ、施錠するときは鎌の反対方向に、キーを回します。
- ③キーを垂直にして抜きます。

(2) 家側から操作する場合



- ①開錠するときは鎌の方向へ、施錠するときは鎌の反対方向に、サムターンを回します。

(3) サムターン部をエマージェンシーに変更する場合



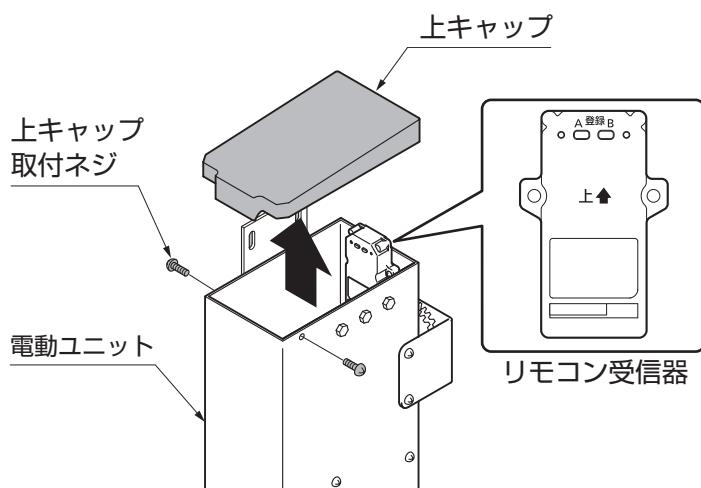
- ①サムターン中央のネジを緩めて、サムターンツマミを取外してください。

補足

- サムターンを外すと家側から手で施錠・開錠ができなくなります。施錠・開錠するときはマイナスドライバーなどで施錠・開錠することができます。

3-4 リモコン送信器の登録方法について

(1) 登録・登録取消しの前に



- ① 上キャップ取付ネジを取外し、上キャップを電動ユニットから上にあげて取外してください。

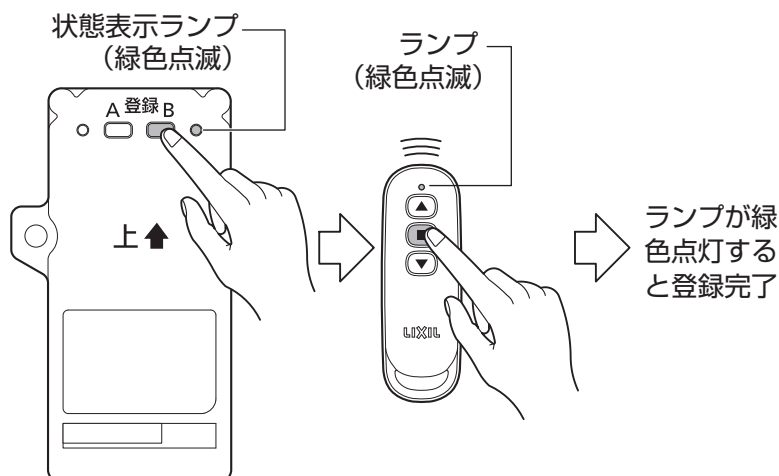
お願い

- 登録または登録取消しが終了した後は、逆の手順で上キャップを取付けてください。

注意

- 登録の際、アルミ型材の切断面に注意してください。ケガをするおそれがあります。

(2) 登録 ※追加登録する場合も同様の方法になります。



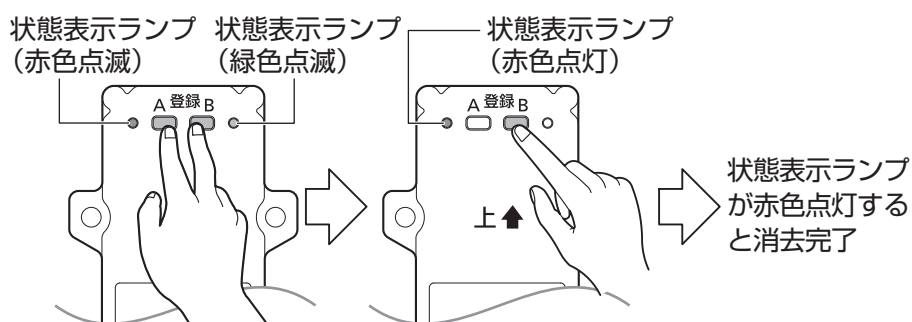
- ① リモコン受信器の状態表示ランプが緑色点滅するまで、「登録B」ボタンを約3秒間押しします。

- ② リモコン送信器のランプが緑色点滅するまで、「■」ボタンを約5秒間押しします。ランプが緑色点灯しリモコン送信器の登録が完了します。

補足

- 2台以上登録する場合は、①と②の作業を繰り返してください。
- リモコン送信器は、16台まで登録可能です。17台目は登録できません。使わなくなったリモコンを入れ替える場合は、リモコン受信器を初期化し、再度登録してください。

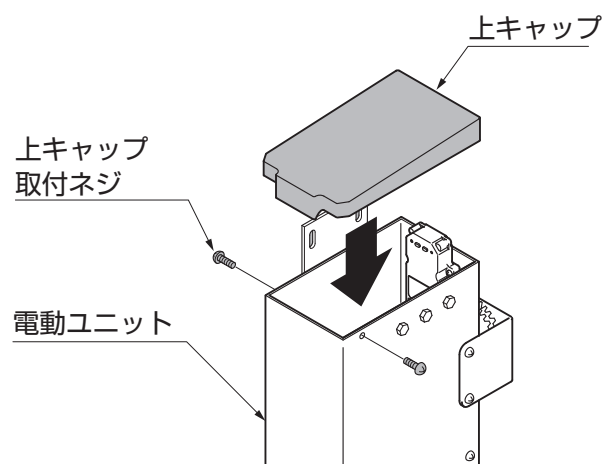
(3) 登録取消し ※登録されているすべてのリモコンを消去します。



- ① 状態表示ランプが緑・赤色点滅するまで、「登録A」「登録B」ボタンを同時に約10秒間押しします。

- ② 「登録B」ボタンを押します。状態表示ランプが約2秒間赤色点灯し、リモコン送信器の登録が消去されます。

(4) 登録・登録取消し終了の後に



- ① 上キャップを電動ユニットに上からかぶせ、上キャップ取付ネジで取付けてください。

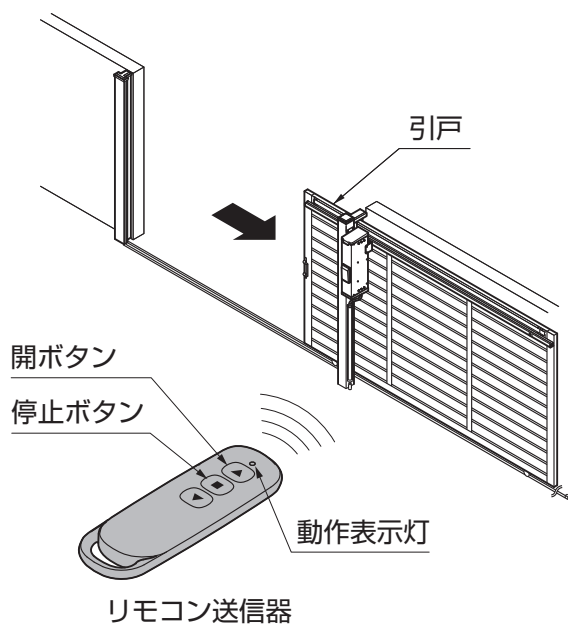
3-5 リモコン送信器での操作方法

警告

- 本製品を操作する場合は、必ず扉を目視確認できる位置で行なってください。操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。特に小さいお子様がいないことを確認してください。

※リモコン送信器の押ボタンスイッチを押して引戸を操作してください。

(1) 引戸を開けるとき

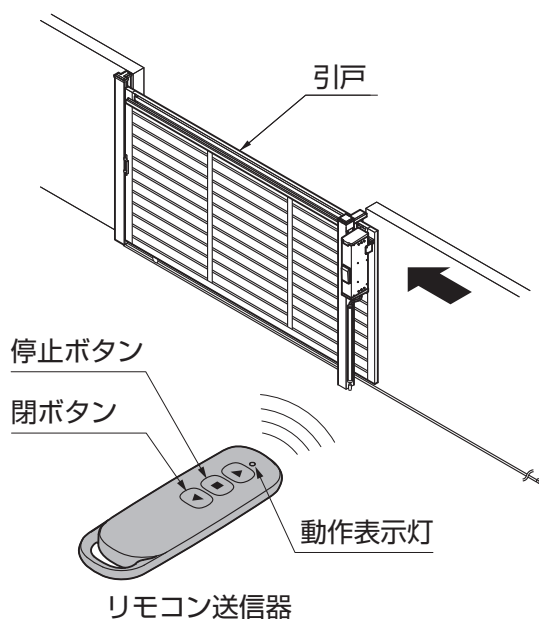


- ①「開(▲)」ボタンを2度押ししてください。
- ②動作表示灯が「点滅」し送信した後、引戸は自動的に開きます。

補足

- 作動途中で停止するときは、「停止(■)」ボタンを押してください。
- 一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。

(2) 引戸を閉めるとき



- ①「閉(▼)」ボタンを2度押ししてください。
- ②動作表示灯が「点滅」し送信した後、引戸は自動的に閉まります。

補足

- 作動途中で停止するときは、「停止(■)」ボタンを押してください。
- 一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。

お願い

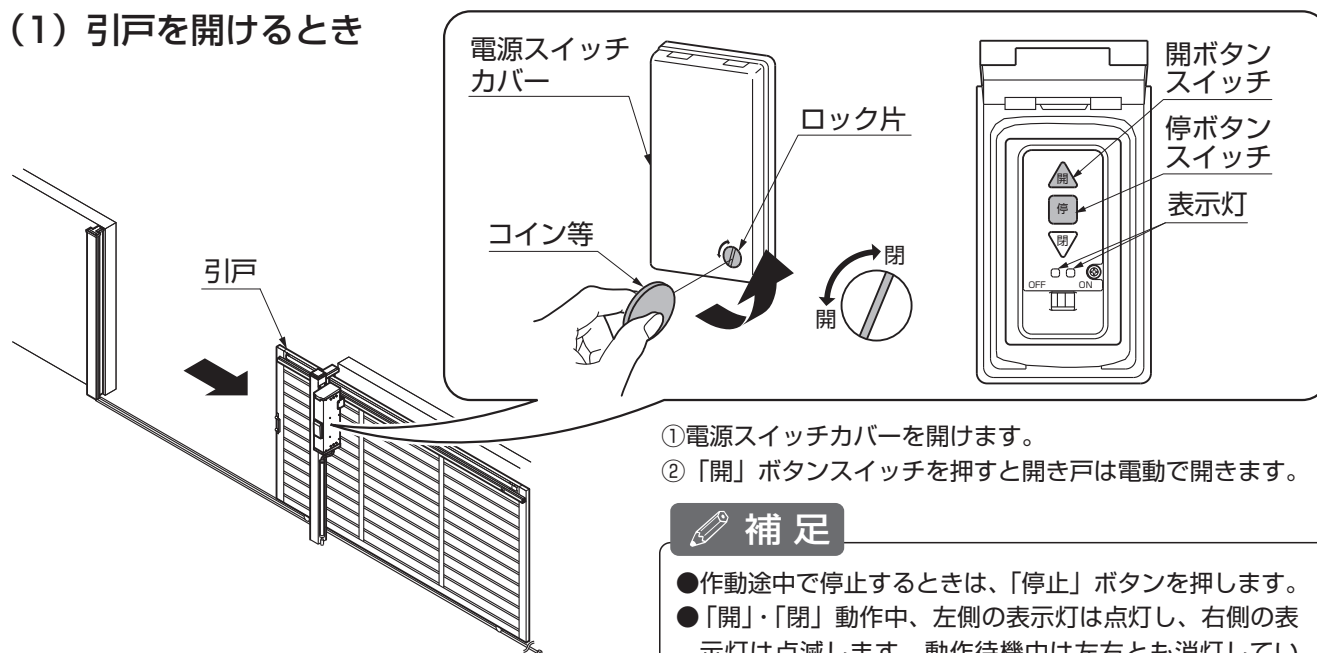
- 「開(▲)」または「閉(▼)」ボタンを2度押すの間隔が2秒を越えようと送信できませんので注意してください。
- リモコン送信器の実用到達距離である約30m以内で操作してください。
- 開閉作動中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止(■)」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。
- 安全上「停止(■)」ボタンに限り1回押すだけで送信することができます。
- 施錠したまま操作し、引戸が動かない場合は、開錠し再度操作してください。

3-6 非常用押ボタンスイッチによる操作方法

補足

- 非常用押ボタンスイッチは、施工時・非常時やリモコン送信器の電池切れ時などに使用してください。通常はリモコン送信器での操作を推奨します。

(1) 引戸を開けるとき

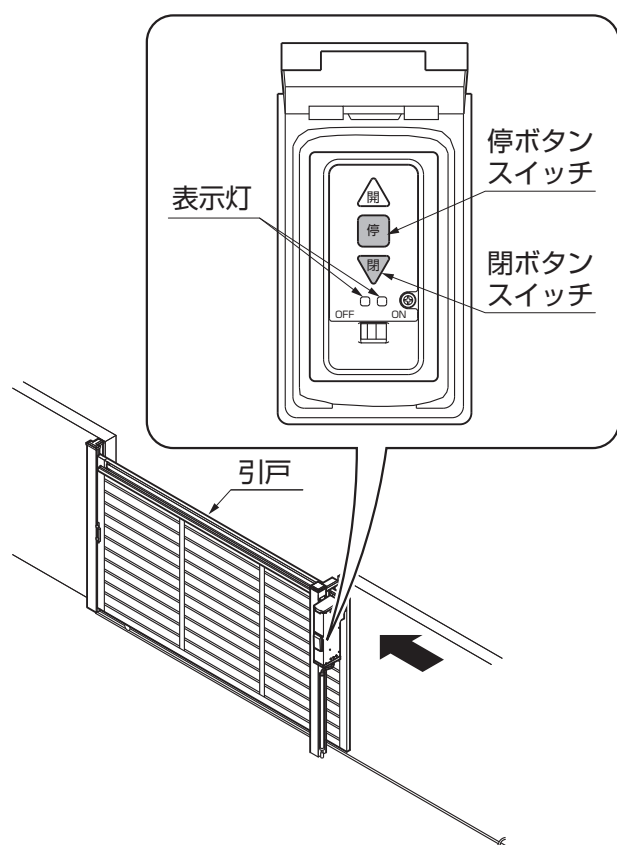


- ①電源スイッチカバーを開けます。
- ②「開」ボタンスイッチを押すと引き戸は電動で開きます。

補足

- 作動途中で停止するときは、「停止」ボタンを押します。
- 「開」・「閉」動作中、左側の表示灯は点灯し、右側の表示灯は点滅します。動作待機中は左右とも消灯しています。

(2) 引戸を閉めるとき



- ①「閉」ボタンスイッチを押すと、引戸は電動で閉まります。

補足

- 作動途中で停止するときは、「停止」ボタンを押します。
- 「開」・「閉」動作中、左側の表示灯は点灯し、右側の表示灯は点滅します。動作待機中は左右とも消灯しています。

お願い

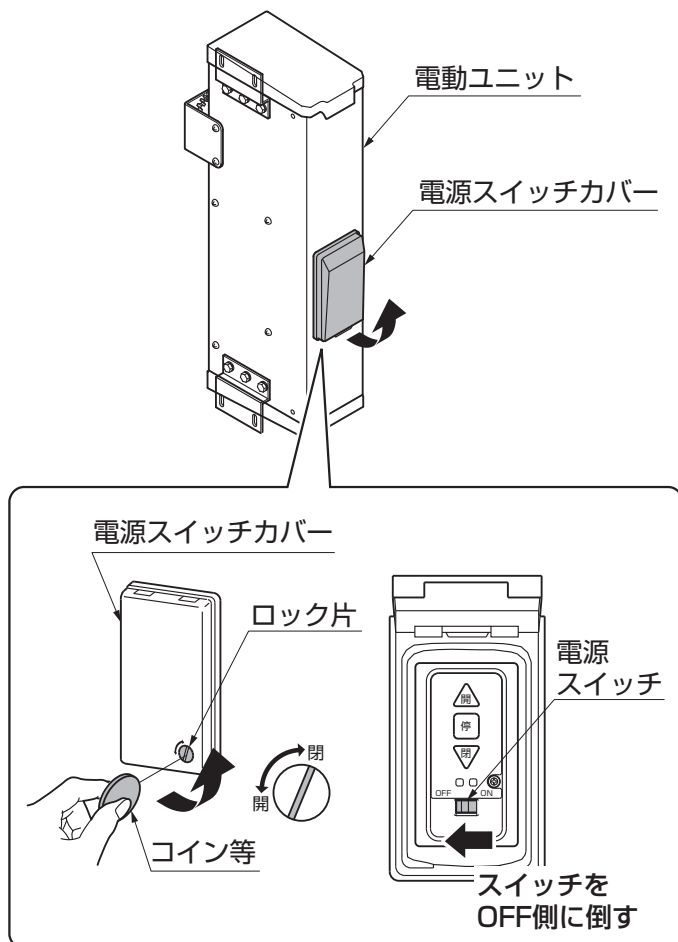
- 開／閉作動中に、逆方向の閉または開作動を行なうときは、必ず一度停ボタンスイッチを押してから、次の押ボタンスイッチを押してください。
- 非常用押しボタンスイッチ操作時は、ボタン中央部をしっかりと押してください。端を押すとボタンが反応しないことがあります。
- 施錠したまま操作し、引戸が動かない場合は、開錠し再度操作してください。

注意

- 不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。



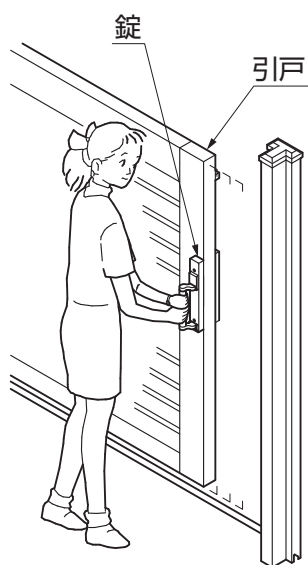
3-7 電動で動かせないときの操作方法



- ①電源スイッチカバーを開けてください。
- ②電源スイッチを「OFF」にします。

補足

- 非常時（停電・故障時）など電動で動かせないときは、手動で動かすことができます。
- 開閉には、約7kgの力が必要です。



- ③引戸の錠部分を手で持ち、開閉します。

お願い

- 手動での開閉は、非常時のときに限り行なってください。
- 通常は電動操作でご使用ください。

3-8 ご注意とお願い

⚠ 警告

- 本製品を操作する場合は、必ず扉を目視確認できる位置で行なってください。操作の際は障害物がないこと、その他周囲の安全を目視で確認してください。特に小さいお子様がいないことを確認してください。

⚠ 注意

- 電動で使用しているときは、手動では開閉できませんので無理に力を加えないでください。駆動部などを破損するおそれがあります。
- 降雪時はレールおよび引戸が、積雪に干渉しない程度まで除雪してから操作してください。故障の原因になります。
- 電動ユニットが浸水などにより動かなくなったときは、電源を切り、施工店・電気工事店（電気工事事有資格者）にご相談ください。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。

お願い

- リモコン送信器を落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコン送信器は生活防水構造になっていますが、雨にぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。
- リモコン送信器を夏季炎天下の車内など、高温となるような場所に放置しないでください。
- リモコン送信器の実用到達距離は約30mですが、周囲の状況により到達距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の電池が消耗すると作動しませんので、すみやかに新しい電池へ交換してください。
- リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していない（一瞬ふれた程度の）ときは、作動しないことがあります。
- 2台以上のリモコン送信器から同時に発信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。
- 引戸が障害物にあたったときには安全装置が働き、閉時は逆方向へ約1秒間動き停止します。開時はその場で停止します。障害物を取除き、閉または開ボタンスイッチを押して引戸を動かしてください。
- 手動での開閉は非常時（停電・故障）のときに限り行なってください。
- 製品に関する移設・増設などは、施工店・電気工事店（電気工事事有資格者）にご相談ください。

お願い

- キーに刻印している番号（英数字）をご使用前に下記に控えてください。

鍵番号	鍵番号
	

紛失時はこの番号で発注してください。鍵番号が不明の場合は、シリンダーユニットごと交換になります。

- スペアキーをお求めの場合は、お買い上げの販売店（工事店）にお問い合わせください。
- シリンダーの動きが悪くなった場合は、鍵穴専用の潤滑剤（市販）を使用してください。鍵穴専用ではない潤滑剤を使用すると故障の原因になるおそれがあります。
- 外出の際は、リモコン送信器だけでなく、キーも必ずお持ちください。
- 製品に関する移設・増設などは、施工店にご相談ください。

4 調整および交換方法

4-1 リモコン送信器の電池交換

補足

- リモコン送信器による操作距離が短くなったり、作動表示灯が点灯しなくなった場合は、速やかに新しい「リチウム電池 CR2」に交換してください。
- 電池寿命は、1日8回(「▲」・「■」・「▼」いずれか1操作/回)の使用で約1年です。



補足

- 薄くて平らなものを電池カバーのロックキーに挿入し、「ロック解除」の位置に回してください。

補足

- 電池カバーをしっかり押さえながら、ロックキーを「ロック」位置に回してください。

補足

- ※挿入／交換後、正常に機能させるために、次のことを必ずお守りください。
- 電池の極性「+」・「-」を確認の上、正しくセットしてください。また、水分やほこりなどが入らないようにしてください。
- ぬれたり、汚れた手で電池をさわらないでください。電池の接触不良となります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしないでください。
- 電極を曲げないでください。

4-2 調整について

注意

- 製品の分解や改造は危険ですので、絶対にしないでください。
- 部品に異常や不具合が生じた場合は、むやみな分解や調整をせず、使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。異常作動など故障の原因になり、事故につながるおそれがあります。



5 お手入れについて

(1) 汚れの取り方

- 年に2～3回水洗いをして拭きとってください。
 - a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。
 - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形、変色することがあります。

補足

- お手入れは、できるだけ根気よく行ってください。汚れを放置すると表面の状態に悪い影響を与えることがあります。

(2) キズの修復

- アルミ部にあやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

6 修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときには修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 理
電動で作動しない、途中で停止する	電動ユニットの電源スイッチがOFFになっていませんか。	電源スイッチをONにする
	レール上に障害物などありませんか。	障害物を取り除く
	施錠したままになっていませんか。	開錠して再度操作する
作動が遅い (通常の作動速度については「9.仕様」参照)	電源を一度OFFにしていますか。	引戸を全閉状態にする
リモコン送信器の開(▲) 閉(▼) 押ボタンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか。	「開(▲)」または「閉(▼)」ボタンを2度押しする
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか。	新しい電池に交換
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか。	かならず0.3秒以上押す
	2台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか。	同時に発信しない
	各種無線器、コードレス電話などを同時に使用していませんか。	同時使用は避ける
	操作位置が電動ユニットから遠すぎませんか。	30m以内で操作
	リモコン送信器が受信器に登録されていますか。	リモコン送信器に登録

お願い

- 全閉以外の場所で電源をOFFにし、その後電源をONにすると引戸の作動は、スロー作動になります。その場合、必ず一度全閉状態にしてください。一度全閉状態にすると通常の作動にもどります。

7 保証と修理

(1) 保証書について

- この引戸用電動装置には保証書が付いています。
- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

	施工日	1年	2年
電 装 部 品	無 料	有 料	有 料
電装部品以外	無 料	有 料	有 料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

(5) 交換用部品について

- お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎0120-126-001
にご連絡ください。

8 別売り品

●下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- ・ リモコン送信器

送信器を増やしたいときや、あやまって破損・損失したときにお申込みください。

- ・ 補修塗料

あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。

9 仕様

項 目	仕 様
入力電圧	AC100 (50/60Hz)
消費電力 (作動時平均)	12VA
モータ定格出力	10W
開閉時間	12cm/秒 (例：有効開口幅350cmにて約30秒)
操作方法	押しボタンスイッチ、リモコン
リモコン到達距離 (見通し距離)	約30m



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

エスライド電動装置 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 保証者**
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、下記公式サイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXIL公式サイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX. ☎0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」(<https://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧ください。

取説コード

UD119

JZZ624938E
201302A_1039
202012F_1049